

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



「親密」「綿密」「緊密」な連携でコロナに打ち勝つ



地域医療連携センターのご紹介

地域医療連携センター長 菊川 浩明

地域医療連携センターでは、患者さまの紹介（前方支援）、退院・転院（後方支援）、医療・介護福祉の総合相談（社会的支援）を業務の中心としています。各医療機関の先生方には、患者さまのご紹介や、当院での治療が一段落しました患者さまの受け入れ・転院等で大変お世話になっており、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

菊川浩明センター長、富高悦司副センター長の医師

2名、地域連携係長の池田としえ看護師長ら専任看護師5名、西迫はづきら医療ソーシャルワーカー6名、事務職6名で構成されています。普段は人との繋がりが大好きで、世話好きで明るく楽しいメンバーですが、それぞれの専門知識を活用しながら日々活動しています。当院にお越しの際は、新しくなった4階・10番にある地域医療連携センターへお寄り下さい。今後も、我々はともに協力しながら熊本医療センター、ひいては熊本県全体の医療連携に貢献できるように尽力する所存でございます。どうぞ宜しくご指導・ご鞭撻の程お願い致します。

【特集】

特定行為研修第3期生を迎えて

- VOICE
- くまびょう TOPICS
- 医学シリーズ 皮膚科
- 研修のご案内
- 研修医レポート
- 外来担当医名簿

令和3年6月1日に、第3期生の開講式を開催しました。1年前より感染防止対策のさらなる強化を余儀なくされ、人流や密を避けるため、出席者を最小にして席を移動しない略式で行いました。

今年度は、救急領域パッケージを専攻する2名が受講することになります。2名とも救急看護分野の認定看護師資格を有し、日々あらゆる緊急を要する現場の実践者であることから、高い目的意識を示しています。しかし、勤務する施設は異なるので、本人及び組織の期待も様々です。各々の環境や意向を確認しながら、研修修了後の活動に応じた学習が充実することを願っています。

さて、特定行為研修制度が発足して6年目ですが、指定研修機関数は5年間で10倍、1年間で88機関増加して2020年8月現在222機関に及びます。熊本県も今年度で5機関となりました。研修修了者数も1年間で900名以上増加して、2020年10月現在2887名に達しています。厚生省の委託を受けて日本看護協会が運営しているポータルサイトによると、熊本県は2020年3月時点では9名に留まっており、九州の中で宮崎県の次に少ない現状です。

昨年、指定研修機関191機関を対象に行われた調査（回収数66機関34.5%）によると、研修の応募数は5年間を通して定員数を下回っています。2020年度の募集で応募数が定員数を超えている特定行為区分は、「心嚢ドレーン管理関連」だけとなっています。

当院は、2020年度から「創傷管理関連」と「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の2区分を増設し、既設の特定行為を含めて「救急領域パッケージ」を新設、8名が受講しました。しかし、今年度は「創傷管理関連」と「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を専攻する応募者がなかったことを大変、残念に感じています。



上記の調査では、指導体制の構築、必要な症例数の確保、研修の運営管理など研修実施の難しさが課題として挙げられています。また、研修修了後の特定行為実践環境の整備の課題や「特定行為研修は難易度が高い」という印象が根強いことも耳にしています。

当機関では、各区分に精通した指導医と修了者による学習サポートを行い、十分な症例数が得られることは過去2年間で実証されています。研修の運営は、専従の担当者が行っています。当院以外の施設には、特定行為実践施設として整備すべき事項をパンフレットにして施設管理者あて案内を行っています。本研修に興味のある方に対し、インターシップとして研修の見学なども検討しています。

当院の修了者6名は、各々の所属部署で特定行為を実践しています。例をあげると、医師が他の診療中に人工呼吸器からの離脱に関わり、人工呼吸器装着期間の短縮を図ることができています。また、COVID-19対応病棟では直接動脈採血など医師とタスクシェアすることにより、互いに患者さまとの接触時間を短縮するメリットも見られています。

まずは、お気軽にお問い合わせいただき、受講に向けて勤務施設が整備すること、受講者が準備することなどひとつひとつ解決させていくことが大事だと思います。今後とも、特定行為研修に対するご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



看護師特定行為研修担当
よしおか 吉岡
かおる 薫



VOICE

登録医の声

 **みずたみ医院**
MIZUTAMI CLINIC
みずたみ かずゆき
院長 水民 和行



◆ 貴院のアピールをお願いします

当院は平成8年に内科・外科・一般総合診療の有床診療所として、開設しました。

平成12年に介護療養型医療施設に変更、その後定員10名の診療所型の通所リハビリテーションを開設。

慢性期疾患、終末期医療、訪問診療、在宅支援診療所として医療と介護両面で地域のお年寄りのニーズにこたえて来ました。

今後、病棟部門で介護療養型から介護医療院への変更を検討しています。

◆ 先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

趣味というほどではありませんが、五十の手習いで始めた津軽三味線。

長続きしているのは、毎日早朝に新しく立派になった貴院を眺めながら、二の丸周辺を約30分ジョギング、その後のラジオ体操です。

朝の清々しい空気を吸いながら走るのは爽快で、ストレスも吹っ飛びます。

そして熊本は海、山、川と自然豊かで妻とドライブがたら温泉につかる週末を過ごしています。



◆ 当院へのご要望をお聞かせ下さい

貴院には日頃、問題行動が強く緊急治療を要する認知症の患者さまを受け入れていただき大変感謝しております。

また週末の初期医療勉強会には以前より参加させていただき、毎日の診療の助けになっております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

【診療科目】

内科・消化器科・胃腸科・外科・肛門科

【診療受付時間】

月・火・木・金 午前9:00～午後17:30
水・土 午前9:00～午後13:00

【休診日】

日曜日・祝日

【住所】

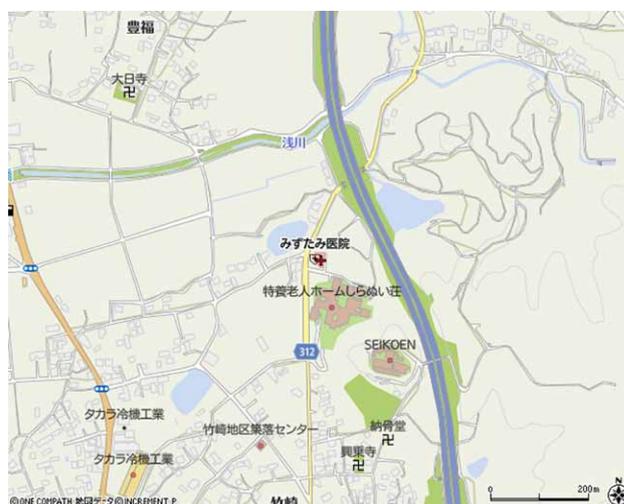
〒869-0523 宇城市松橋町竹崎 1115-32

【TEL】

0964-32-3372

【FAX】

0964-46-1686





最近のトピックス

帯状疱疹、外来治療の重要性

国立病院機構熊本医療センター
皮膚科部長

まきの こうじ
牧野 公治



帯状疱疹は「带状」に「疱疹（小水疱の集簇、ヘルペス）」を生じる疾患であるのがご存じの通りです。水痘帯状疱疹ウイルスが初感染後に神経節に潜伏し、再活性化して神経支配領域に一致した疱疹と疼痛を生じます。

発疹出現 3 日以内に治療開始するのが理想とされ、早期発見が欠かせません。皮膚科で水疱の細胞診（Tzanck 試験）やイムノクロマト法を行うのが確実ですが、視診や問診だけでも診断することが可能で、皆様早期発見に貢献して頂きます。視診では発疹の「片側性」「神経支配領域に一致」だけでなく「中央がやや陥凹した小水疱」が特徴です。問診では「何日前から生じたかが明言しやすい」急性疼痛、かゆみ、ひりつき、そして知覚過敏症状がポイントです。頭部帯状疱疹では「髪に神経が走っているかのように触れるとびりびりする」と言われる方もいます。痛みに湿布を貼っていたら発疹が続発して実は帯状疱疹だったということがあります（逆に湿布かぶれを生じた場合もあり）。

帯状疱疹は、特に痛みが強ければ入院治療が必要、とお考えの先生方も多いと存じます。実際私が当院の研修医だった 2001 年、帯状疱疹は皮膚科の代表的入院疾患でした。ところが 20 年を経た現在様相が大きく変わっています（表）。2001 年はバラシクロビルが登場したてで馴染みがなく、アシクロビルが治療の中心でした。1 回 4 錠を 1 日 5 回飲んでにもかかわらず血中濃度が上がらず、効果を高めるには入院して 1 日 3 回を点滴する、あるいはビダラビンという薬を毎日通院して数時間かけて点滴するしかありませんでした。現在は吸収の良い内服薬、バラシクロビルやファミシクロビルが普及し

ネリックもあります。さらにより服用開始早期に効果発現が期待されるアメナメビルも登場しました。内服のバイオアベラビリティが良い薬が複数あるので、入院の必要性が大幅に小さくなりました。

もう 1 つ重要なのは帯状疱疹関連痛の治療ですが、こちらも様変わりしました。以前アセトアミノフェンは 1 日 1500mg までしか使えず、無効であれば三環系抗うつ薬、リン酸コデイン、抗不整脈薬、抗けいれん薬を試行錯誤して処方するしかありませんでした。今はアセトアミノフェンが 1 日 4000mg まで使用可能で、トラマドールと併用し相乗効果も狙えるようになりました。保険適用のある内服薬プレガバリン、ミロガバリンも登場し、内服治療が大変容易になりました。

ペインクリニックは現在も重い帯状疱疹関連痛の治療に重要ですが、昨今は手術、特に緊急症例の麻酔を多数、麻酔科の先生方にお引き受け頂いているため、ペインクリニックに手を回すことが困難になっています（当院には現在ペインクリニック外来はありません）。一方開業で活躍される麻酔科の先生方が着実に増えており、開業のペインクリニックの先生方に治療をお願いしますので、かえって入院治療が不都合ということになります。

逆に入院が考慮されるのは、顔面のうち鼻に疱疹（ハッチンソンサイン）があり眼症状が憂慮される症例や顔面神経麻痺を合併する症例、仙髄部の帯状疱疹で排尿・排泄に支障を来す症例、高熱と嘔気に加え首振り徴候陽性などヘルペス脳炎・髄膜炎が疑われる症例、そして複数の神経支配領域に疱疹を生じる汎発性の症例です。特に汎発性帯状疱疹は水痘と同じ空気感染をするため、原則陰圧個室入院など厳重な感染対策が必要です。当科ホームページにもご紹介時のお願いを記載しており、お目通し下さい。

最後に、帯状疱疹にかかりやすいのは、50 歳以上、糖尿病、がん、免疫抑制剤や抗がん剤の治療中、さらに睡眠不足、過労、ストレスがたまっている方です。早期発見治療は重要な一方、夜遅くの受診など無理を押すのはかえって神経痛を悪化させかねません。発見したら翌日休みを取って平日昼間に受診するよう、患者さま方へのご指導をお願いいたします。

	2001 年	2021 年
抗ウイルス薬	入院してアシクロビル 1 日 3 回点滴 毎日通院してビダラビン 1 日 1 回点滴 アシクロビル 1 日 20 錠内服： 点滴しないと血中濃度が上がらず バラシクロビルは発売直後で馴染みなし	バラシクロビル、多彩なジェネリック ファミシクロビル、ジェネリックも登場 アメナメビルもある 内服で血中濃度が十分上がる
アセトアミノフェン	1 日 1500mg まで	1 日 4000mg まで
鎮痛補助薬	模索中 三環系抗うつ薬、リン酸コデイン、 抗不整脈薬、抗けいれん薬	保険適用のある内服が増えた プレガバリン、ミロガバリン トラマドールの併用
ペインクリニック	重症例では欠かせず	手術増で麻酔科医の手が回らない傾向 地元クリニックとの連携の重要性高まる

研修医レポート

臨床研修医

堀 遼太
ほり りょうた



こんにちは。研修医1年目の堀遼太と申します。この春に久留米大学医学部を卒業し、4月から熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。研修が始まってまだ1か月少々で、何事も未熟な私ですが、スタッフの方々に日々助けていただき何とか研修生活を送ることができています。毎日少しでも前進し、この地域の医療に貢献できるように尽力する次第です。

私の研修生活は腎臓内科からのスタートとなりました。はじめは、電

子カルテの使い方やオーダーの使い方等を覚えることで精一杯でした。医師として働くためには、医学の知識・手技を身に付けるだけではないのだと痛感いたしました。腎臓内科では透析治療をされている患者さまや腎炎発症の患者さまの診察・治療に加勢させていただき、主にシャント手術やPTA（経皮的血管形成術）に参加しています。やはり学生時代の見学が主だった実習とは見える景色も違うもので、日々新鮮な気持ちで働けております。これも様々な知識や手技を熱心にご教授して下さる指導医の先生方のおかげであり、恵まれた環境で研修できることを非常にありがたく思っています。

また、腎臓内科の研修と並行して救急外来での当直もスタートしました。こちらは日々の業務とは全く違った緊張感を感じております。忙しさを感じる現場ではありますが、望んで入ったこの研修生活にやりがいも感じております。この現場では、指導医の先生方はもちろん、2年目の研修医の先生方に大変お世話になっております。この1年の差というものは大変大きく、来年のこの時期にそこまで到達できるよう精進いたします。

慌ただしい毎日ではありますが、スタッフの方々に支えられながら、充実した日々を過ごさせていただいております。これからもどうぞよろしくお願いたします。

臨床研修医

牧野 耕
まきの こう



こんにちは。研修医1年目の牧野耕と申します。4月より社会人としての生活がスタートし、早2ヶ月が経ちました。学生時代とは生活が一変し、家に帰るとぐったり疲れてしまうことも多いですが、その分充実した日々を送ることができています。

私は麻酔科から研修が始まりました。麻酔科では、先生方の優しく、ときに熱いご指導のもと、末梢静脈路確保や気管挿管をはじめとしたさまざまな手技を学んでいます。患者さまごとに異なる血管の走行や口腔内の構造にうまく対応できないことも多く、毎回緊張で汗だくになりなが

ら奮闘しています。また手術中は、バイタルサインや呼吸状態、出血量、尿量などのデータをもとに患者さまの状態を推測し対応する必要があり、外科的な側面と内科的な側面を併せ持つ診療科であると感じました。

麻酔科での研修に加え、週1回程度、夜間の救急対応にも参加しています。初回は次々と救急搬送される患者さまを前に立ち尽くすばかりで、自分の無知、無力さを痛感させられました。今でもまだ単独でできることはわずかですが、2年目の先生にアドバイスしてもらいながら、救急現場での診察や手技のノウハウを学んでいます。1年後には先輩方のように頼れる存在となれるよう、一番後輩である今のうちにわからないことはどんどん質問し、一歩ずつスキルアップしていけるよう努力したいと思っております。

毎日が失敗の連続で、少し気落ちしてしまうこともありますが、仲間思いの同期に囲まれ、モチベーションを保ち楽しく過ごすことができています。これからの研修生活でも多くの壁が待ち受けていると思いますが、同期とともに一つ一つ乗り越えていきたいです。2年間よろしくお願いたします。

臨床研修医

山部 優理菜
やまべ ゆりな



こんにちは。研修医1年目の山部優理菜と申します。佐賀大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターで初期臨床研修を開始して2ヶ月が経とうとしております。

私はまず糖尿病・内分泌内科から研修を始めました。最初はカルテの書き方、処方の方、各種オーダーの入れ方、入退院の業務、スタッフの方への連絡の仕方など分からないことの連続で至らない部分が多々あり、先生方、スタッフの方々には大変ご迷惑をお掛けしました。しかし皆さんとても優しく、些細なことまで丁寧に教えていただけて、毎日の業務にも何とか慣れて楽しい研修生活を送っております。

また研修医1年目として週に1回程度のペースで救急外来での当直もさせていただいております。こちらはまだ不慣れではありますが、指導医の先生、研修医2年目の先生、スタッフの方々にご指導いただきながら救急での初療について勉強させていただいております。救急と内科を同時に経験させていただくことで、検査や方針などをすばやく考えることと治療目標に向けて内科管理を行うことのどちらも学ぶことができ、大変有意義に感じております。

日々の研修の中で上級医の先生方や2年目の研修医の先生方、コメディカルスタッフの方々に知識面や手技、業務についてなどたくさん教えていただき、大変感謝しております。また同期も20人と多く、お互いどんな研修をしているかなど話す中で刺激になり、自分がとても恵まれた環境にいるんだと感じています。

まだまだ不慣れなことが多く、ご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、皆様のお役に立てるように2年間の研修医生活でより多くのことを学び精進して参りたいと思っております。2年間どうぞよろしくお願いたします。

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

くまびょう TOPICS

5/1 (土) | 5月より脳血管疾患等リハビリテーション料(1)認可施設となりました **爪**

【筆者】主任作業療法士：鬼塚 由大

幸崎脳神経内科部長のもと、作業療法士を2名増員し念願の総合承認施設基準を5月18日に取得しました。専門職のマンパワーの充実を活用し、脳の可塑性に主眼を置いた新しい脳卒中早期リハビリテーションモデルの確立を目指します。代償機能により障害を克服するこれまでの脳卒中リハビリに加え、「随意運動介助型電気刺激装置 IVES」「頸部干渉波電気刺激装置ジェントルスティム」など最新機器を用いた神経筋電気刺激療法を取り入れ、麻痺自体の回復を促すリハビリにも取り組んでいきます。地域医療の中で脳卒中リハビリの連携診療に御協力をお願い致します。

【場所】リハビリテーション室



5/21 (金) | 日頃の感謝を込めて清掃活動を行いました **校**

【筆者】教育副主事：橋口 清美

令和3年5月21日(金)、3年生が「看護の日」の記念行事の一環で病院の清掃を行いました。感染防止や日頃実習でお世話になっていることへの感謝の気持ちを込めて、取り組みました。

【場所】熊本医療センター



6/1 (火) | 患者図書室オープン案内について **事**

【筆者】図書係：藤本 尚子

この度、患者図書室が12番採血・採尿室前にリニューアルオープンしました。以前よりも広くなり、明るく利用しやすい空間に生まれ変わりました。新たにWi-Fiが利用可能になり、今後はインターネット検索端末も追加する予定です。

患者図書室は、病気に対する理解を深め、医療スタッフと共に治療参画することを目的として設置してあります。それ以外に娯楽目的の書籍も揃えています。

患者さまの視点に立ち、居心地のよい魅力的な患者図書室を目指します。どうぞご意見をお聞かせください。



【場 所】8番入院支援室横、12番採血・採尿室前
利用時間及び貸出受付：平日10:30～17:00
(※貸出受付は、入院患者さまのみ)



6/5 (土) | 令和3年度九州国立病院機構診療放射線技師会熊本地区研修会が開催されました **放**

【筆者】特殊撮影主任：木山 量平

令和3年6月5日(土)に、当院研修ホールにて令和3年度九州国立病院機構診療放射線技師会熊本地区研修会がweb開催されました。

当院からは、日吉 崇文技師、宮崎 裕子技師の2名が研究発表を行いました。県内5施設によるweb開催となりましたが、多くの会員との質疑応答・意見交換が行われ、今後の放射線科検査において有意義な研修会となりました。

【場所】当院研修ホール+web



2021年7月研修のご案内

令和3年度
医学生のための臨床研修説明会

日時 ▶ 令和3年7月3日(土) 12時50分～16時30分
場所 ▶ 国立病院機構熊本医療センター 研修センターホール

＝新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う研修会中止のお知らせ＝

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、9月までの下記研修会を中止とさせていただきます。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんが、何とぞご理解くださいますようお願いいたします。

7月4日(日)	第35回 臨床薬理セミナー
7月15日(木)	第85回 医歯連携セミナー
7月17日(土)	第36回 メディカルスタッフのための人工呼吸セミナー
7月19日(月)	第269回 月曜会(内科症例検討会)
7月21日(水)	第143回 総合症例検討会(CPC)
7月31日(土)	第43回 診断と治療 ―最新の基礎公開講座―
8月16日(月)	第270回 月曜会(内科症例検討会)
8月25日(水)	第183回 救急症例検討会
9月4日(土)	第44回 診断と治療 ―最新の基礎公開講座―
9月11・12日(土・日)	第10回 すべてのナースのためのエンド・オブ・ライフ ―ELNEC-J in KMC―
9月13日(月)	第271回 月曜会(内科症例検討会)
9月22日(水)	第184回 救急症例検討会 特別講演

なお、今後の感染状況や熊本県の動向を踏まえて、変更させていただく場合がありますので、最新の情報は当院ホームページ等でご確認をお願いいたします。

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター
QRコード▶ 

患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和3年7月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 三井 士和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 西田 周平(午前再診)	西田 周平(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 大村 和寛(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	(午前紹介/院内コンサルト) 原 英記	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 原 英記(院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏			小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	松下 昂樹	富田 正郎	
	腫瘍内科	境 健爾 三井 士和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 士和	境 健爾 榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀	杉 和洋 中田 成紀 向坂 健佑	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 松田 暖	向坂 健佑 中田 成紀 馬見塚 大悟	
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟	松山 太一 馬見塚 大悟	松山 太一 松田 暖	中田 成紀 向坂 健佑 志茂田 美紀	石井 将太郎 松田 暖
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟 松田 暖	石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀 松田 暖	中田 成紀 松山 太一 馬見塚 大悟 松田 暖	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 馬見塚 大悟	石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀
	腹部超音波	杉 和洋 松田 暖	石井 将太郎 志茂田 美紀 松田 暖	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟	石井 将太郎 馬見塚 大悟	松山 太一 志茂田 美紀	
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	藤本 和輝 日下 裕章 木村 優一	田山 信至 野津原 淳(隔週 新患) 長倉 拓究(隔週 新患)	日下 裕章 松原 純一(新患)	野津原 淳 長倉 拓究 白尾 友宏 藤本 和輝(新患)	松原 純一 木村 優一 田山 信至(新患)	
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めの方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	森並 次朗 荻野 肅	山下 建昭	
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡	
小児科	診察	水上 智之	西村 円香	水上 智之	水上 智之	山下 貴大	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	石田 昌宏		山下 貴大		石田 昌宏	
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科	宮田 辰徳 藤川 和晃	水元 孝郎 井上 光弘	野元 大地	宮成 信友 井上 光弘	久保田 竜生		
脳神経センター (脳神経外科)		大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 井上 博貴	中川 隆志	大塚 忠弘 宮崎 愛里	
		幸崎 弥之助	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	津田 麻友美	
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		坂本 佳菜子 高木 寛		中馬 東彦 高島 佑輔	
泌尿器科	前田 喜寛 銘苅 晋吾	菊川 浩明 鮫島 智洋 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 東 俊之介 / 担当医		
産婦人科	高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	西村 弘 直		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 志茂田 裕	手術日	担当医	上村 尚樹 志茂田 裕		
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	市村 知佳	西 葉月	中嶋 仁美	
	再診 (初診 無紹介)	城野 剛充 市村 知佳	西 葉月 牧野 公治	中嶋 仁美 市村 知佳	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 中嶋 仁美	
形成外科	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 石田 拓也		
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、山口 晃世					
	画像診断	浅尾 千秋、伊藤 加奈子、根岸 孝典、井上 聖二郎、幸村 紘子、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)		(午前のみ) 森永 真矢 (麻酔相談)		
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科		谷口 広祐 早川 真奈 中尾 美文 森 久美子	中島 健 谷口 広祐(隔週) 早川 真奈(隔週) 中川 文雄 中尾 美文 森 久美子	中島 健 谷口 広祐 早川 真奈 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 早川 真奈 中川 文雄	中島 健 谷口 広祐 早川 真奈 中川 文雄 中尾 美文	
	救命救急センター	櫻井 聖大、山田 周、橋本 聡、深水 浩之					
看護外来	ストーム	國友 耕太郎		木村 文彦		宮内 大介	
	がん看護	専門看護師(午前)	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	移植後フォローアップ	専門看護師(他)	専門看護師	専門看護師	専門看護師	専門看護師	
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師		

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R3/7/1